

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和6年1月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和6年1月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和6年1月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【幅広い業種で人手不足に苦慮する中、一部業種では能登半島地震等新たな不安要因が発生し、収益改善への道筋は険しい】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-19.9（前月-16.9、前年同月-27.2）で、前月比3.0pt悪化した。幅広い業種で人手不足が課題になっていることに加え、年末繁忙期からの反動や能登半島地震の影響もあり、小規模事業者等においては収益維持に苦慮している。

【製造業】

業況は-15.7（前月-13.7、前年同月-19.6）と前月に比べ2.0pt悪化した。機械金属業では一部にダイハツ工業の不正問題の影響が見られることに加え、製造業全体でも人材確保に改善が見られず、回復には至っていない。

【建設業】

業況は-26.5（前月-20.6、前年同月-38.2）と前月に比べ5.9pt悪化した。公共・民間工事ともに大きな回復が見られない中、高齢技能者の引退による人手不足や能登半島地震による資材調達不安が事業者の負担となっている。

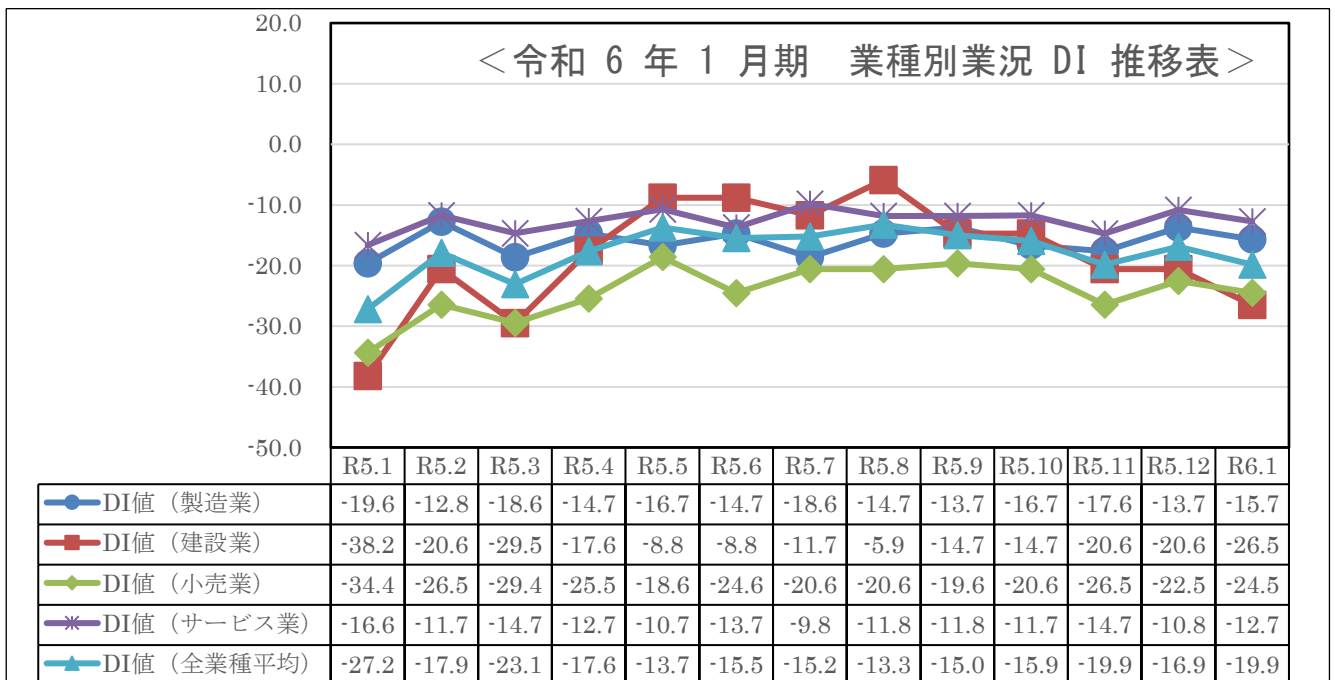
【小売業】

業況は-24.5（前月-22.5、前年同月-34.4）と前月に比べ2.0pt悪化した。年末需要の反動や暖冬の影響で需要が伸びず、加えて能登半島地震による供給不安や最低賃金引上げ等が更なる収益押し下げ要因となっている。

【サービス業】

業況は-12.7（前月-10.8、前年同月-16.6）と前月に比べ1.9pt悪化した。旅館業では一部地域で桜シーズンが迫り期待感が続くものの、他業種では諸経費高騰に改善が見られず苦慮している。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：名波・増田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品製造業では、人手不足により事業の維持や拡大ができないとの声が聞かれる。（伊豆）
- ・ダイハツ工業向け部品を扱っている機械金属業者の中には、不正問題の影響を受けて売上が減少した先も出てきている。（富士駿東）
- ・機械金属業では、自動車関連の需要増加によりやや好転傾向にある。（中部）
- ・人手不足や原材料価格の高止まりで利益率は未だ低く、大手企業のような回復には至っていない。（中東遠）
- ・繊維工業では一部で受注増加が見られるが、安定した売上確保には至っていない。（西遠）

【建設業】

- ・地域唯一の木材店が廃業した。近隣では 1 社のみの木材取扱いとなるため、競争が無くなり単価高騰等が危惧されている。（伊豆）
- ・高齢技能者の引退に伴い相対的に若手技能者が繁忙になっている。また能登半島地震の影響による建築資材価格の高騰を不安視する事業者もある。（富士駿東）
- ・人出不足が原因で新規受注を受けられない事業所が発生している。（中部）
- ・能登半島地震により一部建築資材においては需要が急増し、一層の価格高騰が危惧されている。（中東遠）
- ・年度末の公共工事の受注状態は例年並みだが、資材高と行政の予算圧縮等により利益率は大幅に下がっている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

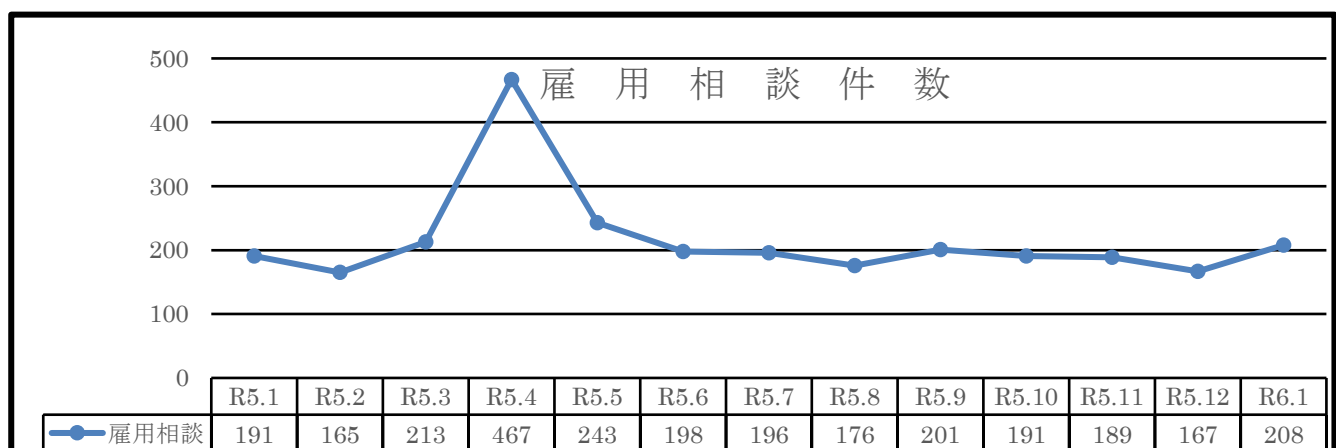
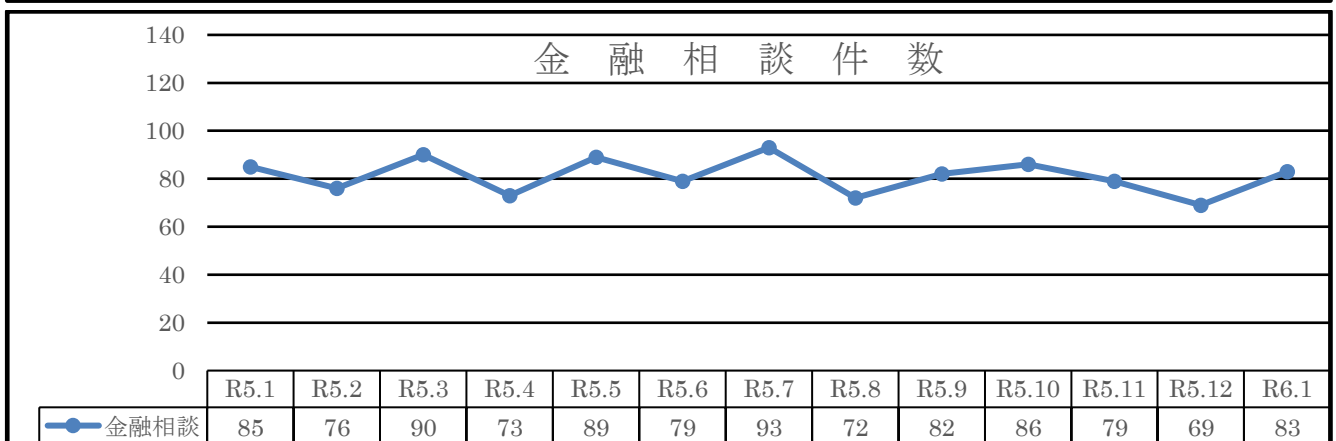
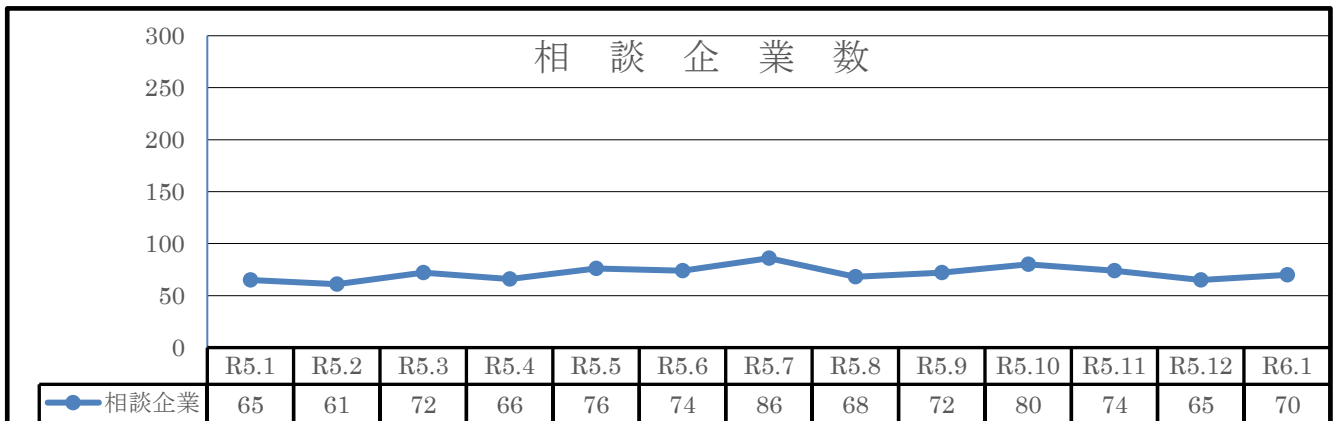
- ・衣料品小売業では、暖冬により冬物衣料の売上が伸びなかった。（伊豆）
- ・自動車販売では、一部メーカーは能登半島地震の影響により半導体不足が生じ、納期の長期化が再発している。（富士駿東）
- ・価格転嫁も進んでいるが、仕入・運搬コスト等の高騰が続き利益を圧迫している。（中部）
- ・耐久消費財では、白物家電の売れ行きが好調であった。（中東遠）
- ・物価高騰に加え、最低賃金引上げの影響で販売管理費の上昇に苦慮している。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では、河津桜まつりを控え多数の事業者で期間中の予約が満室となっている。（伊豆）
- ・洗濯業では、光熱費高騰の影響が依然として大きい。（富士駿東）
- ・コロナ5類移行後初めての年末年始により、売上がやや改善した。（中部）
- ・旅館業では、需要の回復傾向が続き、好調を維持している。（中東遠）
- ・理美容業では、諸経費の高騰により値上げを実施したが、固定客は維持できている。但し新規顧客数が減少傾向にあり不安が残る。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和6年1月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	70	65	5
【金融相談件数】	83	69	14
新規融資(借換えを除く)	64	53	11
既存債務の借換え	14	16	-2
借入れ条件変更	2	0	2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	0	3
【雇用相談件数】	208	167	41



【金融相談】

金融相談件数は83件と前月(69件)に比べ14件増加した。年末以降ゼロゼロ融資の返済も含め資金繰りに苦慮する事業者は多く、各種金融支援に係る相談ニーズが高まっている。

<経営指導員コメント>

- ・12月以降、マル経融資による資金調達のニーズが増加している。(伊豆)
- ・年末以降融資相談は増加傾向にあるが、使途は前向きな設備投資等と業況悪化への資金手当の二極化が見られる。(富士駿東)
- ・建設業では資材・燃料価格の高止まりで負担が増え、資金繰りが悪化している企業が増加している。(中部)
- ・信金をメインバンクとする事業者から公庫融資の相談があり、返済余力の検討と事業計画見直しの必要性等を指導した。(中東遠)
- ・ゼロゼロ融資の返済開始も増える中、業況が好転しない事業者も多く、中には返済負担の増加を避けるため借入ではなく貯蓄性保険の解約等により資金を工面している事業者も見られる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、208件と前月(167件)に比べ41件増加した。県内全域で深刻化する人手不足への相談が多く、社労士や行政等と連携した支援を行った。

<経営指導員コメント>

- ・管内経済動向を調査したところ、全業種で人手不足が深刻化している。(伊豆)
- ・サービス業や建設業等の雇用需要はあるが、求人に応募がない状況である。(富士駿東)
- ・退職者が出た事業所より、失業給付の内容についての相談が多くあった。(中部)
- ・人手不足に対応するために地元人材を積極的に採用したいとの相談があり、掛川市の企業情報サービス「カケジョブ」登録を支援した。(中東遠)
- ・業務改善助成金の相談が増加し、社会保険労務士等による相談会で対応している。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2/1(木)～2/29(木)まで「第34回河津桜まつり」が開催されている。コロナ禍の期間中と比べ多くの来町者が予想され、期待感が高まっている。(河津町)
- ・1/10(水)～1/16(火)、静岡伊勢丹のアレモキッチンコレモストアにて合同商工会フェアを開催。新商品を中心にPR・販売を行い、出店事業者が現地で直接お客様とコミュニケーションを取って生の声を聞きながら自社商品の販売を行った。(河津町・東伊豆町)
- ・1/20(土)～2/4(日)まで土肥桜祭りが開催され、多くの観光客が一足早い春の訪れを楽しんだ。(伊豆市)
- ・1/28(日)に庵原球場にて「第3回清水いはらフェス」が開催された。庵原地区への道の駅整備を実現するための地元住民主体の手作りのイベントであり、地元の海・山の幸で来場者をもてなした。(静岡市清水)
- ・1/13(土)に「かけがわ抹茶スイーツコンテスト2024」が開催され、市内の小中学生が掛川抹茶を使用したスイーツのレシピづくりに取り組んだ(掛川みなみ)
- ・1/21(日)に「森のKトラ市」を開催した。(森町)